

# 主催：NPO 法人食品安全グローバルネットワーク

## 第 15 回：食物添加物の摂取量調査研究

食品添加物のリスク管理のためには、食品添加物の摂取量に関するデータは欠くことができません。摂取量調査には、主に 2 つの方法があります。国内生産量と輸入量から 1 日 1 人当たりの摂取量を推計する方法、平均的な喫食に相当する食品を購入し定量分析する方法です。後者を実行するためには、高感度で高精度の食品中の食品添加物分析法が必須です。伊藤譽志男先生を中心とした全国の研究者による定量分析法の開発とマーケットバスケット方式による大規模な定量分析、大量のデータの処理がなされました。

同氏を中心として長年に渡って実施された研究成果は、我が国の食品化学行政を科学的に支えました。また、広く海外にも紹介され国際的にも高い評価がなされてきました。

このテーマは、先日の第 20 回日本食品化学学会で講演されたものですが、会場の関係で「よく聴講できなかったので、再度講演を」との要望をいただきましたので、計画いたしました。

**2014 年 7 月 26 日(土) 14 時～16 時 30 分**

**CSビル 3 階** 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4 丁目 2-12

(地下鉄御堂筋線 西中島南方 新大阪側出口左折 西へ徒歩 1 分)

14:00～14:10 **挨拶**

伊藤譽志男(NPO 法人食品安全グローバルネットワーク会長)  
元厚生省国立医薬品食品衛生研究所食品試験部長  
元武庫川女子大学薬学部教授、元財団法人日本食品分析センター学術顧問

14:10～15:30 **不可能へのチャレンジ**

**～ 日本人の食品添加物の一日摂取量調査研究 ～**

伊藤譽志男(同上)

15:30～16:15 **食品表示法 ～ 進捗状況、課題、見通し ～**

中村幹雄(同 NPO 事務局長、鈴鹿医療科学大学薬学部客員教授)  
元消費者庁食品表示一元化検討会委員、元厚生労働省食品添加物公定書検討会委員

16:15～16:30 **情報交換会(名刺交換会) 参加は任意です。**

参加費：会員；2,000 円、非会員；3,000 円 定員：15 名(先着順)

連絡先：特定非営利活動法人 食品安全グローバルネットワーク(大阪府指令府活第 2-271 号)

〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4 丁目 2-12 TEL：090-3280-4181 FAX：06-6305-8614

E-mail：mikio-nakamura@mopera.net